

実施要項

1 目的

本校では電子黒板を導入することで、全ての教科において、生徒の学びの質を高める「わかりやすい授業」や「主体的・対話的で深い学び」を行うための効果的なICTの活用方法についての実践的研究を日常的に行っている。このように授業改善を行っている全ての教科の授業動画を公開することにより、研究成果を広く普及することを目的とする。

2 公開方法

徳島県立那賀高等学校学習支援サイト (https://naka_hs.tokushima-ec.ed.jp)からのオンデマンド配信

3 公開期間

令和4年2月17日（木）から令和4年3月2日（水）まで

4 動画を公開する教科（科目・学年）

(1) 国語（古典B・2学年）

HR（講座）	23HR	実施教室	23HR
科目（単元）	古典B（漢詩「登岳陽楼」） *「杜甫について調べよう」		
ICTを活用する目的（ねらい）	①漢詩「登岳陽楼」の詠まれた背景や作者の心情を深く理解するために、ICTを活用し教科書に載っていない情報や教科書の内容を深く調べる。 ②生徒それぞれが訓読文を書き下し文に直し、すぐに確認ができ、理解を深めることができるようICTを活用する。		
具体的な活用方法	①漢詩「登岳陽楼」の作者杜甫について、各自調べプリントにまとめる。 ②調べたことを発表する。 ③各自訓読文を書き下し文に直し、プリントに記入する。わからないところは電子黒板上の手本で確認する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	計 20 分 程度	

(2) 地理歴史・公民 (世界史A・1学年)

HR (講座)	12HR	実施教室	12HR
科目 (単元)	世界史A (イギリス産業革命とロシア帝国)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	<p>①連携中学校 (木頭中学校) の教員とのティームティーチングを遠隔授業で行う際に、ZoomやClassiを使いながら、生徒一人一人の理解を深めるために、ICTを活用する。</p> <p>②今後の遠隔授業に備え、ICTを積極的に活用し、効果的な活用方法を模索しながら研究をすすめる。</p>		
具体的な活用方法	<p>①イギリス産業革命について、タブレットで問題に取り組みせ、前時の復習をする。</p> <p>②電子黒板を使い、全体に問題の解説を行い、今後の学習内容についての説明も行う。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計20分程度	

(3) 数学 (数学I・1学年)

HR (講座)	12HR	実施教室	12HR
科目 (単元)	数学I (2次不等式)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	<p>①生徒それぞれが自分の意見を発表したものを、リアルタイムで共有し、一人一人の理解を深める手段としてICTを活用する。</p> <p>②タブレットを利用し、定数の存在範囲を図を動かして考えるなど、試行錯誤の手段としてICTを活用する。</p>		
具体的な活用方法	<p>①タブレット上で連立・次不等式の問題を解き、生徒の解答を電子黒板に投影し、クラス全体で意見を共有する。</p> <p>②Me t a M o J iを用いて、生徒同士で解答を互いに見られる工夫を行い、協力して理解を深めさせる。</p> <p>③グループで数直線の図を動かして考えることで、定数 a の存在範囲について吟味する。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計50分程度	

(4) 理科 (生物基礎・2 学年)

HR (講座)	2 2HR	実施教室	2 2HR
科目 (単元)	生物基礎 (腎臓と肝臓による調節)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	<p>①電子黒板やタブレットを使用することで生徒の興味関心を引くことができ、一人一人がより理解を深めることができる。</p> <p>②ICTを用いて自分の考えを書く際、他の生徒と意見を共有しながらよりよい意見を創造することができる。</p>		
具体的な活用方法	<p>①腎臓における尿生成の流れについて、MetaMoJiのワークシートに記入させ、前時の復習を行う。</p> <p>②「血しょう・原尿・尿の各成分と濃度」についての資料を活用し、そこから読み取れることをMetaMoJiのワークシートに記入する。</p> <p>③記入した内容を電子黒板に映し、クラス全体で意見を共有する。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計 50 分 程度	

(5) 保健体育 (体育・1 学年)

HR (講座)	1 2HR	実施教室	体育館
科目 (単元)	体育 (バスケットボール)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	<p>①シュートやドリブルなどのプレーは、自分が感じている感覚と、客観的に見た感覚では違いがあることを体験させる。自分のプレーを視覚的に復習する手段としてICTを活用する。</p> <p>②チームごとの作戦が実行できているかを、試合の動画を撮影、確認することで行わせる。</p>		
具体的な活用方法	<p>①練習前にチームごとで作戦を立てさせ、試合の動画をタブレットで撮影し、チームごとに振り返りを行う。</p> <p>②自分のシュート練習やチーム練習の動画をタブレットのカメラ撮影し、その場で確認することで自らもフィードバックを行う。</p> <p>③動画として記録しておくことで授業以降も自分や他の生徒の動きを見ることが可能になる。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計 30 分 程度	

(6) 芸術（書道Ⅱ・2学年）

HR（講座）	21HR	実施教室	21HR
科目（単元）	書道Ⅱ（高野切第一種の臨書を通して、流れるような連綿と変化に富んだ墨継ぎについて学習する）		
ICTを活用する目的（ねらい）	<p>①生徒端末のカメラ機能を活用し、筆の圧力や潤渇の具合を記録する。それを電子黒板に投影することで、繰り返し鑑賞することができる。さらに生徒端末に送信することで、個別の作品制作に生かすことができる。</p> <p>②臨書作品をポートフォリオにできるため、技能の上達を各自が確認でき、相互鑑賞も深まり、意欲を高めることができる。</p>		
具体的な活用方法	<p>①指導者の臨書する様子を撮影する。</p> <p>②生徒の臨書する様子を撮影する。</p> <p>③電子黒板に指導者、生徒の撮影した臨書動画を投影し、比較しながらポイントを再確認する。</p> <p>④MetaMoJi ClassroomやMicrosoft Teamsで撮影動画を共有することで、日々の技能向上を自己評価できる。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計35分程度	

(7) 英語（コミュニケーション英語Ⅱ・2学年）

HR（講座）	22HR	実施教室	22HR
科目（単元）	コミュニケーション英語Ⅱ（Lesson3 Cuba） *キューバについて学んだことを、自分の言葉で英語で書く		
ICTを活用する目的（ねらい）	<p>①タブレットを使うことで、紙に書く以上に生徒の興味関心を引くことができるため、一人一人の生徒が主体的に英文を書く。また、お互いに書いたものを瞬時に確認し合えるため、自らの書いた文の振り返るにもつなげる。</p> <p>②書いたものをポートフォリオにできるため、定期的に、自分の英語レベルの向上具合を確認し、向上していることで、モチベーションを高める。</p>		
具体的な活用方法	<p>①Warm upとして、昨日何をしたかを3分間、英語で書く。</p> <p>②キューバの実態について、英語で書く。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計30分程度	

(8) 家庭 (家庭基礎・1 学年)

HR (講座)	1 2HR	実施教室	1 2HR
科目 (単元)	家庭基礎 (住生活をつくる) *ライフステージに合った住居を考えよう。		
ICTを活用する目的 (ねらい)	①住まいに対するイメージを広げるため、住宅広告や住宅情報誌、Webサイトなどを利用し、理解を深めるための手段としてICTを活用する。 ②生徒それぞれが考えた間取りを、リアルタイムで共有し、一人一人の理解を深める手段としてICTを活用する。		
具体的な活用方法	①サザエさん家の間取りを体感するために、住宅体感動画を利用する。 ②間取りをエクセルファイルで共有し、5年後のリフォーム間取りを作成する。 ③個々の間取りを班で発表し共有した後、各班で採用した間取りを発表する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	計 30 分 程度	

(9) 情報 (情報実習2・3 学年)

HR (講座)	3 2HR	実施教室	3 2HR
科目 (単元)	情報実習2 (Excelを共有して敬語表現を学ぶ)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	①MicrosoftOffice Teamsを活用してExcelを共有し、敬語の一覧表を作成する。 ②敬語表現を生徒たちで調べさせて、IF関数を用いて正しい表現であるかどうかの答え合わせを行う。		
具体的な活用方法	①チームを作り、生徒を参加させる。 ②TeamsでExcelを立ち上げ、共有された環境で敬語一覧表を作成する。 ③あらかじめ非表示にしていたセルを再表示し、IF関数を活用して答え合わせをする。 ④生徒たちでIF関数を入力して、敬語一覧表を完成させる。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	計 45 分 程度	

(10) 農業（測量・2学年）

HR（講座）	23HR	実施教室	23HR
科目（単元）	測量（角測量）		
ICTを活用する目的（ねらい）	<p>①林業現場で利用されている角測量について、ICを活用し、より分かりやすく理解を深める。</p> <p>②森林GISシステムなど、よりデジタル化が進む測量技術について、データ処理や機器の操作について学習を行う。</p>		
具体的な活用方法	<p>①外業の様子を電子黒板に表示し、興味・関心をひく。</p> <p>②電子黒板に斜距離を水平距離に換算する計算方法について表示し、分かりやすく説明し、理解させる。</p> <p>③学習支援アプリ「Teams」を活用して、生徒に配布したExcelファイルに計算値を入力させる。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計30分程度	

(11) 福祉（こころとからだの理解・3学年）

HR（講座）	32HR（福祉コース）	実施教室	福祉実習室
科目（単元）	こころとからだの理解（認知症の理解）		
ICTを活用する目的（ねらい）	<p>①現在、介護の現場においてもICTをさまざまな場面で活用していることからICTを利用者のアセスメントの場面で活用し、効果的に課題を解決することを体験し理解する。</p> <p>②視覚的効果を使うことで思考を整理しまとめやすくする。</p>		
具体的な活用方法	<p>①事例の利用者が「その人らしく生きる」ことができるように現在の生活でできることとできないことを見極め、アセスメントする。</p> <p>②アセスメントから、現在できることに対して介護従事者がどのように支援を行うかまた利用者の可能性を引き出すためにどのような声かけができるかをMeta Moji上の表に表す。その際に色分けした付箋を使い理解しやすくする。</p>		
活用場面	導入・展開・まとめ	計10分程度	

5 申込について

(1) 別紙視聴申込書に必要事項を御記入の上、随時本校担当までメールで申し込んでください。

なお、視聴については、教職員の方に限らせていただきます。

(2) オンデマンド配信用のIDとパスワードは、随時各校代表メールに送付します。

(3) メールが届かない場合は、本校担当に電話またはメールでお問い合わせください。

進化する教室イノベーション事業担当

徳島県立那賀高等学校

副校長 藤川 美和

電話 0884-62-1151

電子メール fujikawa_miwa_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

6 その他

(1) 公開する動画は、録画及びダウンロードはしないでください。

(2) 視聴された方は、動画公開サイトに記されたURLからアンケートに御協力ください
(アンケート回答〆切3月9日(水))。